

1. 件名：福島第一原子力発電所一号機ペDESTALの状況を踏まえた今後の対応に関する面談

2. 日時：令和5年6月15日（木）13:15～13:45

3. 場所：原子力規制庁6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、大辻管理官補佐、石井係長、元嶋専門職、高橋係員

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 2名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 5名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

● 原子力規制庁は、東京電力に対し、令和5年6月5日に実施された特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合（以下「技術会合」という。）において検討を指示したペDESTALの支持機能喪失時の圧力容器及び格納容器等の構造上の影響評価について、以下の通り指示の内容の詳細について伝えた。

1. ペDESTALの支持機能喪失に起因するインナースカート及びペネトレーション部等の構造への影響について、Ss900の地震動により生ずる応力に対する評価を行うこと。また、JEAG4601に準拠し、インナースカートの開口部も考慮した評価についても実施すること。

2. 上部構造物の水平方向の移動について、周辺構造部材の強度や挙動に着目した評価を示すこと。また、仮に上部構造物の移動が拘束できないという評価に至った場合は、自由端とみなしての評価を実施すること。

3. 事故の経緯等を踏まえ、異常な高温履歴を経ている鋼材の強度・性状の変化が、構造強度評価へ及ぼす影響について考察すること。

● 原子力規制庁は、本評価が完了次第技術会合で報告することを求めた。

● 東京電力からは、検討を進め報告できるよう準備する旨回答があった。

6. 資料

なし